

外国ルーツの子どものための 学習支援講座

令和7年1月26日（日）に、ボランティアステップアップ学習会を開催しました。ボランティア活動や日本語教育に興味のある方など33名が参加しました。

はじめに姫路市教育委員会の先生から、外国ルーツの児童生徒を取り巻く環境についてお話しいただきました。姫路市における日本語指導が必要な児童生徒数は、急増しており、多国籍化、分散化も進んでいます。切れ目のない支援態勢の整備が急務となっています。



支援の心構えや具体的な支援方法については、兵庫県国際交流協会登録日本語教師の辻村文子先生から、たくさんの具体例を挙げて説明していただきました。また、ワークショップでは、実際に子どもたちからされた質問を題材にして、グループで話し合いました。

子どものやる気を引き出す工夫、楽しく学ぶためのアイデアなど、たくさんのヒントを教えてくださいました。「教材を教える」のではなく、「教材で教える」ということは、支援の経験者である参加者にとっても目から鱗だったようです。

この講座で得たことを活かし、これからのボランティア活動が、より充実したものになれば幸いです。

